

	天	ら	議	下				經	好	と	例		數	の		け	れ	萬	
	命	ぬ	す	せ	太			『	む	訓	へ	ま	收	經	懷	れ	な	葉	我
	遂	に	る	ば	子	弘		』	」	ず	ば	た	録	歴	風	ば	い	集	が
	げ	文	者	章	天	文		の	（	る	「	、	し	で	藻	作	が	は	國
	ず	藻	其	と	性	天		詩	『	の	智	詩	た	あ	で	れ	、	庶	で
	。	日	の	成	明	皇		句	論	は	」	人	の	ら	第	な	古	民	も
	時	に	洪	り	悟			を	語	、	や	達	は	う	一	い	今	の	勿
	に	新	學	、	、			前	』	「	「	の	、	。	に	歌	集	歌	論
	年	し	を	言	雅			提	（	智	仁	教	鎮	政	興	ば	以	も	、
	二	。	歎	を	よ			と	に	者	」	養	魂	治	味	か	降	採	詩
	十	壬	か	出	り			し	本	は	を	の	の	的	が	り	は	録	歌
	五	申	ふ	せ	博			た	づ	水	「	高	爲	な	引	で	訓	さ	は
	。	の	。	ば	古			詩	く	を	み	さ	な	敗	か	あ	練	れ	貴
		年	未	論	を			な	。	好	」	に	の	者	れ	。	を	て	族
		に	だ	と	愛			ど	他	み	や	も	だ	達	る	の	受	の	も
		亂	幾	爲	ま			が	に	仁	「	驚	ら	の	の	は	け	の	の
		に	ば	る	す			あ	も	者	」	か	う	漢	、	た	た	か	で
		會	く	。	。			つ	『	は	や	さ	か	詩	詩	人	で	も	あ
		ひ	も	時	筆			た	詩	山	ま	れ	。	を	人	な	知	る	。
		て	あ	に	を			。		を	」	る		多					。

來		（			表	で	仕	の	不			能	器			つ	局		
け	神	あ	わ		舞	處	掛	政	幸	天		く	宇	皇		。	量	皇	
む	風	か	が		台	斷	け	情	を	武		文	峻	子	大	津	弘	子	河
君	の	と	背	大	か	さ	た	不	呼	天	背	を	遠	は	津	の	雅	は	島
あ	伊	き	子	伯	ら	れ	策	穩	ぶ	皇	景	屬	。	、	皇	逆	。	、	皇
ら	勢	）	を	皇	姿	る	謀	な	引	崩		る	幼	淨	子	を	始	淡	子
な	の	露	大	女	を	と	に	中	き	御		。	年	御		謀	め	海	
く	國	に	和	の	消	、	か	で	金	が		（	し	原		る	大	帝	
に	に	わ	に	歌	し	大	か	、	と	、		中	て	帝	及	に	津	の	
	も	が	遣		た	伯	り	天	な	大		略	學	の	び	及	皇	第	
	あ	立	る		。	皇	、	武	つ	津		）	を	長	て	び	子	二	
	ら	ち	と			女	大	の	た	皇		因	好	子	て	、	と	子	
	ま	濡	さ			も	津	皇	天	子		り	み	な	島	莫	、	な	
	し	れ	夜			齋	皇	后	武	を		て	、	り	則	逆	の	り	
	を	し	ふ			宮	子	・	天	含		逆	博	。	ち	の	志		
			け			を	が	持	皇	め		謀	覽	淨	變	契	懷		
	な		て			解	謀	統	病	た		を	に	貌	を	温	裕		
	に					か	反	天	歿	姉		進	し	魁	告	裕	、		
	し		曉			れ	の	皇	後	弟		む	て	梧	ぐ	。	し		
	か					、	罪	が		の		。		、					

